

科目番号	52022	分類	地域母子保健学	履修者	高度実践助産コース	学年		
科目名	地域母子保健学特論 (Theory of Maternal and Child Health in the Community)						1	
							配当セスター	
							後期	
担当者	○渡邊香 他4名	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 変化する社会における地域母子保健の今日的課題について理解し、地域母子保健の意義について理解する。また、地域母子保健の政策・事業を概観し、その活動状況や課題を調査・分析し、その評価や対策について考え学ぶ。						○	1. 自律して自然分娩の支援ができる能力	
【目標】 1. 地域母子保健の意義について説明できる。 2. 地域母子保健に関わる政策および事業について説明できる。 3. 変容する社会における母子保健の課題について説明できる。 4. 課題解決のための計画立案・対策を検討するのに必要な理論や方法を説明できる。 5. 地域母子保健活動における助産師の役割について説明できる。							2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力	
							3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力	
							4. 周産期の救急時に対応できる能力	
							5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力	
							6. 研究・開発能力	
							7. 倫理的意思決定能力	
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
第1回	科目のガイダンス 地域母子保健学の概要						渡邊 他4名	
第2回	地域母子保健の現状と課題①							
第3回	地域母子保健の現状と課題②							
第4回	地域診断と母子保健							
第5回	わが国のおもな母子保健制度							
第6回	地域母子保健活動の実際①							
第7回	地域母子保健活動の実際② (ハイリスク)							
第8回	総合講義、母子保健の今日的課題と助産師・保健師の役割							
事前・事後学習	事前学習：各回の必携および参考図書で該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料を復習する。事前事後学習には30～60分程度で出来る課題を課すレポートを課す「母子保健の今日的課題と助産師・保健師の役割」。							
評価の方法	レポート(70%)、授業・討論への参加状況(30%)にて総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。							
参考図書 ・資料等	◎助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 我部山キヨ子他 第6版 医学書院 ・母子保健の主なる統計 令和6年度版 ・助産師のための産後ケアガイド 2023 日本助産師会出版 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							